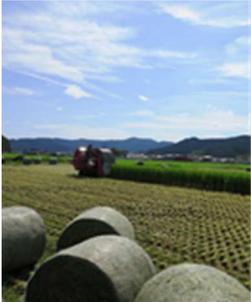


集落営農法人・組織の優良事例

組織名	農事組合法人 加茂ファーム
所在地	西予市宇和町
経営品目・面積	水稲：3.5ha、WCS用稲：12.2ha、麦：9.6ha、大豆：4.7ha、かぼちゃ：0.6ha、そば：3.7ha、白ネギ：1.1ha、キャベツ：0.9ha
構成員戸数	41戸
所有する機械・施設等	トラクター、コンバイン（普通型、麦・大豆用）、田植機、ロールベアラー、タマネギ収穫機、ハンマーナイフモア、他
組織代表者氏名・連絡先	出水 洋一（TEL：0894-62-0407 西予農業指導班）
設立の経緯	昭和57年、集落内の圃場整備を機に、集落内全戸加入で結成され、ブロックローテーションによる転作の団地化と機械の共同利用による稲作の低コスト化に努めてきた。
取り組みの特徴	<p>○集落内農地の90%以上の利用権設定・集積を図り、4年7作のブロックローテーションによる作付の連坦団地化を図るなど合理的土地利用調整に取り組んでいる。</p> <p>○平成17年には、集落の農地を後世に残すため、より強固な組織である農事組合法人となり、近年は生食用の稲作に頼らない経営を目指し、野菜やWCS用稲を取り入れ土地利用率を最大に高め、構成員の高齢化に伴う担い手の確保と経営安定を図っている。</p> <p>○複合作業（耕起・施肥・播種等）用機械や汎用作業（中耕・防除等）用機械の積極的導入と無人ヘリ防除作業委託、育苗箱全量施肥技術導入などで低コスト・省力化を図っている。</p> <p>○平成20年度から耕畜連携を開始、水稲・麦全てのワラを収集し畜産農家に供給、畜産農家からは2～3t/10aの堆肥を当該圃場に還元している。</p>
取り組みのPR画像等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">飼料稲や加工キャベツの導入 月1回の作業計画検討</p>